

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 27 年 3 月 27 日作成

事務事業名	観光広告掲載事業 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	所属部局	農林商工部	単位番号	6147	
		所属課室	観光商工課	課長名	朽原 伸幸	
基本政策	II にぎわいと活力あふれる都市づくり <input checked="" type="checkbox"/>	所属担当	観光担当	担当者名	中澤 弘樹	
		予算科目	会計	名称	款 項 目 細目 細々目	
政策	09 地域資源を活かした観光の振興 <input checked="" type="checkbox"/>	事業区分	01	一般	07 01 03 020 32	
			<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		
施策	16 観光基盤の整備 <input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		
			<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H15 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~ 年度)	法令根拠	なし	<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金	2,293	
事業の内容	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・南アルプス市のPRを行うため、放送メディアや新聞、雑誌への広告掲載を行うための経費。 ・今後についても同様に継続して行く。	事業費の主な内訳(26年度 決算見込)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
事業の概要		広告料		2,293		
					計	2,293

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

①活動	
26年度活動内容	モンベルフレンドエリアへの登録など新たなPR方法を利用し更なるPR効果向上を図る。
27年度活動予定	新たなPR方法を利用し更なるPR効果向上を図る。
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
	市内のイベント及び果樹・山岳観光情報
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	
	多くの人に市内イベント及び果実・山岳観光の情報を知ってもらう
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
	観光客の増加

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:広告媒体数	社
イ:	
ウ:	
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:広告掲載したいイベント数	件
イ:広告掲載したい果実観光情報	件
ウ:広告掲載したい山岳観光情報	件
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:広告掲載したいイベントの内、掲載された割合	%
イ:広告掲載したい果実観光情報の内、掲載された割合	%
ウ:広告掲載したい山岳観光情報の内、掲載された割合	%
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
名称	単位
ア:広告媒体を見て市内を訪れた観光客数	人
イ:	

		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	2,798	1,930	2,293	2,600	2,600	2,600	
	事業費計(A)	千円	2,798	1,930	2,293	2,600	2,600	2,600	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30	
人件費計(B)	人件費計(B)	千円	137	137	137	137	137	137	0
	(A)+(B)	千円	2,935	2,067	2,430	2,737	2,737	2,737	0
活動指標		ア:社	10.0	11.0	11.0				
		イ:							
		ウ:							
対象指標		ア:件	11.0	11.0	11.0				
		イ:件	10.0	10.0	10.0				
		ウ:件	8.0	8.0	8.0				
成果指標		ア:%	100.0	100.0	100.0				
		イ:%	100.0	100.0	100.0				
		ウ:%	100.0	100.0	100.0				
上位成果指標		ア:人							
		イ:							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	旧町村がそれぞれ実施していたものを、南アルプス市が継承し、市内全域として捉えた中で実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	インターネットを中心とした情報の提供等、媒体が大きく変化している。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 効果的な地域にタイミングよく、出来るだけ経費を抑える中で、広告の掲載を行っている。
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	ラジオ、テレビ等のメディアを効果的に活用するようしている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	イベント掲載の多い県外新聞紙上に経費を抑える中で掲載した

事務事業名	観光広告掲載事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 果樹・山岳等、市内主要観光の発展と振興のために必要不可欠な事業であり、市の施策と結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 果樹・山岳等、市内主要観光の発展と振興のために必要不可欠な事業であり、市の施策と結びついている事から妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 情報発信には、PRは必須である。
	④成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 H26年度は、新たな情報発信を行うため成果の向上が望める。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 目的とする集客が見込めない。 市の観光振興に支障を来たす。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 観光の振興に必要な意味を持つ事業である。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現在、必要最低限と考える。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 外部に委託する事業ではない。最低限の人員で対応している。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全体の観光振興に供する公共的な事業である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本来であれば市のPRの充実を図っていかなければならないが、必要最小限の経費で最大の効果が得られるよう努力している。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																			
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)																			
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)																			
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																			
<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<input type="checkbox"/> 終了																			
(2)改革改善案について	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>成績維持</th> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>水準低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	成績維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	水準低下	<input type="checkbox"/>		
	コスト水準																			
	削減	維持	増加																	
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	
成績維持	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																	
水準低下	<input type="checkbox"/>																			
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果 平成26年度																			
	成果優先度評価結果 ⑧																			
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																			